

レファレンスコード	19991012A
記述レベル	個人・関連団体文書／教員個人文書
文書群名	野副 鐵男 関係資料
原蔵者	<p>野副 鐵男(のぞえ てつお 1902-1996)は仙台市出身の有機化学者で、トロポノイド化学の発展への貢献、特にヒノキチオールが発見で知られています。東北帝国大学の理学部では真島利行に師事し、大正 15 年(1926)の卒業後、台湾に渡り台湾総督府専売局に勤務、その後台北帝国大学の教授となり、戦後は東北大学理学部教授として研究を進めました。</p> <p>昭和 33 年(1958)に文化勲章受章、翌年に仙台市名誉市民に選ばれ、昭和 54 年(1979)に日本学士院会員に就任しました。また同年、中華民国(台湾)からも文化褒章を授与されています。</p>
年代	1935 年～2004 年
数量・編成	計 86 点。野副が 40 年間にわたり、交流のあった世界各国の化学者から得たことで有名な「サイン帳」9 冊をはじめ、試料の標本、講演の記録、原稿類、関係する新聞記事などが含まれます。
伝来	池上雄作氏(東北大学名誉教授)の手による整理を経て、1999 年に遺族(長男)の野副重男氏(同)、および野副鐵男先生追悼事業会から当館に寄贈されました。
データ公開日	2015 年 3 月 31 日
公開条件	当館利用規則に基づき公開いたします。
利用・複写条件	原本を閲覧していただきます。複写は写真撮影のみで、電子複写はできません。
参考文献等	『東北大学百年史』、高嶋真嗣ほか編『ヒノキチオール物語』(1996)、野副鐵男先生追悼事業会編『ひとすじの道－追憶・野副鐵男先生－』(1997)